

豊中市 「高い安全性能」と「コスト」を両立

「未知の脅威」への対策を強化

豊中市は、ますます多様化・複雑化しているサイバー攻撃に対応するため、2015年にウイルス対策ソフトのリプレースを行った。高度なウイルス検知能力、高コストパフォーマンスのシステムを導入し、情報資産の保護に万全を期している。

10年以上にわたり同じウイルス対策ソフトを使い続けていた大阪府豊中市が、2014年、セキュリティ製品の見直しの検討を開始した。背景には、ここ数年で情報セキュリティの技術が発展したこと、そしてその頃、大企業による顧客情報漏えい事件が起こったことがあった。

豊中市は、数社の製品を比較した結果、カスペルスキーの『Kaspersky Endpoint Security for Business』の導入を決定した。総務部情報政策課情報システム調整係主事の山田修太郎氏は、その経緯をこう語る。

「候補となるセキュリティ製品を検



豊中市は、ウイルス対策ソフトをリプレースし、情報セキュリティ対策の強化を実現した

討する中で、各社の担当の方に豊中市まで足を運んでいただき、話を伺いました。当初、カスペルスキー製品については、ウイルス検知能力が高いという程度の認識だったのですが、話を聞いて多くのメリットを感じ、導入を決定しました」

「未知の脅威」を未然に防ぐ

山田氏が最も魅力を感じたのが、他社製品ではオプションとなっていた「ふるまい検知」の機能が標準であったこと。「ふるまい検知」とは、組織

内のプログラムを常時監視し、怪しい動きをしているプログラムを「ウイルスの可能性がある」と自動的に判定して隔離し、感染を防ぐ仕組みだ。

豊中市が従来使用していたウイルス対策ソフトは、過去に発生したウイルスのパターンをデータベース化し、それに基づいて怪しいプログラムを判定する「パターンマッチング方式」だった。それでは、未知の脅威に対応するのは難しい。

豊中市はウイルス対策ソフトをリプレースすることで、日々生み出されて

いる新種のウイルスの脅威からも、庁内のシステムを保護することが可能になった。

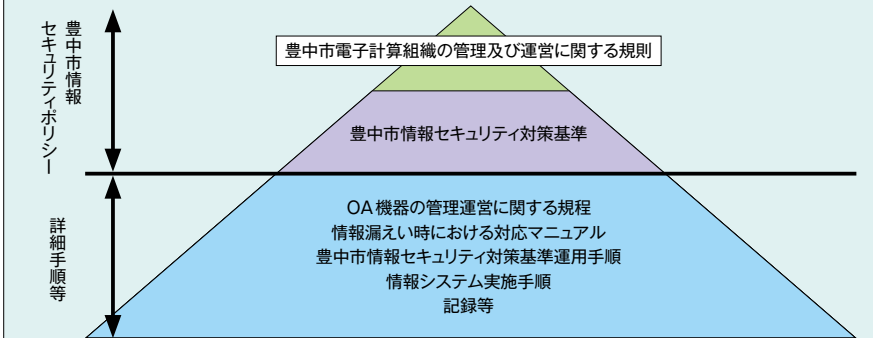
他にも、危険なウェブサイトにアクセスさせない機能や、USBメモリなどの外部メディアを管理する機能といった、他社製品では別途購入しなければならないツールがオールインワンで完備され、費用対効果に優れているのも、カスペルスキー製品を導入した決め手となったという。

「既存のセキュリティ・システムの追加として、ふるまい検知専用の製品を導入してしまうと、コストが二重になり、運用も煩雑になってしまいます。『Kaspersky Endpoint Security』の場合、さまざまな機能が最初から備わっており、一括で導入できるため、コスト面でも大きなメリットがあると判断しました」

その他、定期的にウイルスチェックをする際の「差分スキャン」機能も役立っている。これまでのウイルス対策ソフトでは、定期チェックの際、PC内のすべてのファイルをチェックしなければならなかった。その結果、ウイルススキャンに時間がかかってしまったり、PCの動きが悪くなったりと、作業効率を落としかねない要因となっていた。

豊中市の情報セキュリティに関する規程の体系図

豊中市では、情報セキュリティの方針を示す「豊中市電子計算組織の管理及び運営に関する規則」と「豊中市情報セキュリティ対策基準」で、「情報セキュリティポリシー」を構成。ポリシー以外にも、「OA機器の管理運営に関する規程」や「情報漏えい時における対応マニュアル」といった要綱等により、情報セキュリティのルールを定めている。



しかし、今回導入した『Kaspersky Endpoint Security』では、変化のないファイルに対する再スキャンは、毎回行わず、独自のアルゴリズムに基づき実施するため、ウイルススキャン時の負荷を軽減している。

導入・運用も万全のサポート

豊中市では、新たなウイルス対策ソフトの導入によって、悪質なアドウェア（強制的な広告表示）も検知して隔離するなど、認識できるリスクの幅が広がっただけでなく、検知のレベルやスキャンする範囲を細かく設定できるようになり、必要に応じた調整も可能になった。

山田氏は「最初はサポート体制などに不安を感じていました」と話す。し

かし、カスペルスキーの担当者の対応に接し、不安はすぐに解消された。

「豊中市は現在、約2000台のPCを管理していますが、それらのPCがどういう用途で使われているかなど、庁内のシステム環境や運用状況をお話しし、現状に合った設定・運用を細かく提案していただきました」

また、マニュアル類の内容も、ユーザーが理解しやすいよう構成されており、導入後も安心して使用できているという。

「市民の個人情報を管理する自治体には、重要なデータが多く、一度でもセキュリティ対策を怠れば、大きな問題につながりかねません。情報セキュリティに完璧を求めるのは難しいかもしれませんが、市民の皆様が安心できるよう、万全を期すことは最低限の務めです。そうした中で、今回導入したカスペルスキー製品は、機能や利便性に優れているだけでなく、コスト面でもパフォーマンスの良さを発揮してくれています」

複雑化するサイバー攻撃から「市民の安全」を守る強力なツールとして、豊中市では、カスペルスキーの世界で認められた保護性能の高さが、大いに役立っている。

豊中市は、2000台以上の端末にカスペルスキー製品を導入

行政情報系ネットワークにおける端末台数の推移（情報政策課所管分）

